

**被災建造物の補修補強後の耐力変形状評価研究委員会**  
**第4回 幹事会議事録（案）**

日時：2004年3月29日（木）15:30～16:30

場所：（社）日本コンクリート工学協会 第4会議室

出席者：白井（委員長）、中村（副委員長）、北山（幹事）、衣笠（幹事）、小林（幹事）、  
鈴木（委員）、松田（事務局）、田嶋（委員）、以上8名

**議事内容**

**1. 研究委員会の報告**

中村副委員長より研究委員会の概要報告が行なわれ、本委員会が継続となったことが報告された。その他研究委員会での意見の概略は以下のとおりである。

- ・委員の追加に関して考慮した方が良い。
- ・用語をきちんと定義する必要がある。
- ・用語の定義を含めて、要求性能を明確にした議論が必要である。
- ・委員会の名称を変更することはできないが、報告書のタイトルなどで工夫していただきたい。

**2. 追加の委員について**

研究委員会において指摘された追加委員に関して議論を行なった。以下に議論の概要を示す。

- ・研究委員会で指摘されたのは、東北大学の前田先生や兵庫県南部地震の復旧に実際に携わった人を追加すると良いのではないかということであった。（白井）
- ・土木では、小林幹事が鉄道関係に詳しいので、道路系で貢献していただける方がいると良いのではないか。（中村）
- ・各WGの主査から追加委員（2～3名）の提案をいただき、具体的な人選は委員長に一任していただきたい。（白井）

**3. 今後の委員会の活動について**

本委員会が継続となったことを踏まえて、今後の委員会の活動について協議した。概略は以下のとおりである。

- ・現在WG2の主査である北山幹事から主査の変更に関する申し出があり、本年度から河野委員にWG2の主査をお願いすることになった。また、北山幹事にはWG2のメンバーとして引き続き活動していただくことになった。（白井）
- ・委員の追加を考慮して、各WG内で主査の他に副査も設けることにする。（白井）
- ・1人の委員が複数のWGに所属することも避けるようにして、活動に集中できる環境を整えたい。（白井）

#### 4. コンクリート工学年次大会 2005 におけるリサーチプラザのパネル作成について

小林幹事より、パネル作成に関する提案が行なわれた。また、田嶋委員よりパネルの案が示された。これらに基づいて、パネル作成に関して議論を行なった。以下に、概要を示す。

- ・リサーチプラザではパネルを 4 枚作成する必要がある。本委員会では、1 枚目において委員会全体に関する内容を整理し、2~4 枚目に関しては各 WG の活動内容を整理したいと考えている。(小林)
- ・各 WG よりパネル作成の委員を 1 名ずつ決定していただきたい。(小林)  
→ 各 WG の主査より、WG1：向井委員，WG2：田嶋委員，WG3：滝本委員が推薦され、全体委員会において承認を得ることとなった。
- ・パネル案に関して、①大地震を受けた直後の建物はもっと激しく壊す，②図中の矢印の色について、危険な状態を赤で示し、安全な状態は青で表現する方が良い。(鈴木)
- ・パネル作成に関して、後日テンプレートを作成して、各 WG のパネル担当者へ送付する。(小林)
- ・リサーチプラザは 6 月 22 日（水）12：30～14：00 に開催され、この時間に必ず 1 名は委員が常駐するようにする必要がある。(中村)

#### 5. セミナーの開催について

本委員会の 1 年目の活動を報告する場として、セミナーを開催することとなった。この件に関して協議を行い、以下の点が決定した。

- ・開催日時：6 月 17 日（金）13:00~17:30
- ・開催場所：(社) 日本コンクリート工学協会 11 階会議室
- ・参加費：正会員（個人）4,000 円／団体会員構成員 4,000 円／会員外 5,000 円／学生 2,000 円

また、セミナーの内容については、以下に示す意見が出された。

- ・基調講演を建築および土木それぞれ 1 名の方に 45 分程度でお願いしたい。(白井)
- ・委員会活動の内容について中村副委員長に 15 分程度で、各 WG の報告を 30 分程度で各主査にお願いしたい。(白井)
- ・質疑応答の時間を多く確保し、活発な議論が出来るようにしたい。(鈴木)
- ・セミナーの最後には、鈴木委員に挨拶をお願いしたい。(白井)
- ・セミナー終了後には全体委員会を開催し、簡単な懇親会を行なえるとよい。(白井)

以上